令和　6 年度 12月補正予算　主要な事業の説明書

（一般会計）

令和6年第4回 嬉野市議会定例会提出

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 地域振興事業費	事業名	結婚支援推進事業
総合計画による位置づけ	基本方針	みんなで創る、自発のまちづくり					政策分野	②男女共同参画

実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	22	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

全国的に年々未婚率が増加し、晩婚化の傾向が顕著であることが社会問題となっている中、結婚を希望する独身男女に交際のきっかけとなる出会いの場を提供することにより人生の良きパートナーにめぐり会い、結婚してもらうことで未婚率の減少や晩婚化の抑制などの少子化対策に繋がり、将来的には地域がより活性化していくことを目指す。また、経済的理由で結婚に踏みきれない独身者の結婚実現のため、結婚新生活を支援する。

2. 事業内容

結婚を希望する独身男女の支援をするため、男女の出会いの場としてのイベントや、講師によるコミュニケーション能力アップ・身だしなみ等、自分を磨くセミナーを開催する。また、結婚の手助けをする相談員等に対し研修、結婚相談を開催する。また、結婚に伴う経済的負担を軽減し、結婚しやすい環境づくりを応援するため、新婚世帯に対し、住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用、リフォーム費用の一部を助成する。

3. 全体計画

事業期間 令和 3 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円) 16,394

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容			結婚支援推進	結婚支援推進	結婚支援推進	結婚支援推進
事業費(単位:千円)		補助率	2,917	3,123	3,715	6,639
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金		1,146	750	1,600	3,600
	市債					
	ふるさと応援寄附金		1,700	1,000	2,000	1,300
	その他					
	一般財源		71	1,373	115	1,739

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
報償費	結婚支援相談員1人77千円　結婚支援サポーター4人　144千円		221
旅費	普通旅費(職員1人)　1,700円×1.3×1人×1回＝2,210円		3
	費用弁償(相談員1人)　1,700円×1.3×1人×1回＝2,210円		3
需用費	消耗品費(事務用品)		5
役務費	傷害保険料(相談員・サポーター)6,310円		7
委託料	結婚支援推進事業　500千円　出逢いのイベント事業　500千円		1,000
負担金、補助及び交付金	(補助金)結婚新生活支援事業　2,400千円(県補助2/3)	2,400	
	【今回追加補正】　3,000千円(県補助2/3)	3,000	
	計	5,400	1,239

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	3，639千円
12月補正事業費	3，000千円
(補正財源内訳) 県支出金	2，000千円
一般財源	1，000千円
補正後事業費	6，639千円

【積算基礎】

相談による今年度見込み	1,200,000円(300,000円×4件)
前年度継続補助(5件見込み)	1,800,000円
	3,000,000円

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	17 庁舎等整備費	事業名	庁舎整備関連事業
総合計画による位置づけ	基本方針	みんなで創る、自発のまちづくり					政策分野	⑤財政計画

実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	22	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

新庁舎でのオフィス改革を見据え、現庁舎内にパイロットオフィスを設置し、今後の働き方やオフィス環境の検証を行う。
パイロットオフィスで業務効率化や職員同士の連携強化、ペーパレス化等の効果検証を行うことで、メリットや課題を新庁舎整備前に把握するとともに、全庁的に「新しい働き方」に向けた意識醸成を図る。
※パイロットオフィス…組織全体にオフィス改革を展開する前に、特定の部門や課単位で試験的に新しい働き方を導入する取り組み

2. 事業内容

パイロットオフィスを整備するため、什器の選定、レイアウトの検討を行う。パイロットオフィス整備後、新庁舎で検討しているフリーアドレスの導入やクリアデスクの実施等のオフィス改革を試行する。また、新庁舎建設工事に伴い、支障となる電柱の移設に係る費用を補償する。

3. 全体計画

事業期間 令和 4 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円) 2,443,314

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容				庁舎整備関連事業	庁舎整備関連事業	庁舎整備関連事業
事業費(単位:千円)		補助率		20,165	225,142	2,198,007
財源内訳	国庫支出金	1/2、2/5			61,776	46,518
	県支出金					
	市債(合併特例債)	95%				1,423,900
	市債(一般補助施設整備等事業債)	75%				40,900
	ふるさと応援寄附金					
	その他(合併振興基金)			19,980	114,100	117,060
	その他(公共建設基金)					541,000
	一般財源			185	49,266	28,629

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
報酬	塩田庁舎等利活用検討委員会5,700円×15人×7回＝598,500円		599
旅費	普通旅費81,000円×5人＝405,000円、1,700円×1.3×6人×10回＝132,600円		566
	費用弁償(塩田庁舎等利活用検討委員会委員)27,580円		
交際費	視察土産30,000円		30
需用費	消耗品50,000円		50
委託料	設計・監理115,932千円、塩田庁舎11,593千円、建設等支援29,738千円	110,332	46,931
使用料及び賃借料	駐車場使用料10,000円、仮事務所賃借料2,160,000円		2,170
工事請負費	新庁舎建設1,965,074千円、嬉野庁舎第2庁舎解体65,000千円	2,030,074	
	【今回追加補正】		
備品購入費	パイロットオフィス用什器7,125千円		7,125
補償、補填及び賠償金	支障電柱移設工事補償金130千円		130
計		2,140,406	57,601

5. その他参考となる事項

	9月補正後事業費	12月補正事業費	12月補正後事業費
	2,190,752千円	7,255千円	2,198,007千円
(財源内訳) 国庫支出金	46,518千円		46,518千円
合併特例債	1,423,900千円		1,423,900千円
一般補助施設整備等事業債	40,900千円		40,900千円
公共建設基金	541,000千円		541,000千円
合併振興基金	111,060千円	6,000千円	117,060千円
一般財源	27,374千円	1,255千円	28,629千円

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	延長保育事業
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	①結婚・妊娠・出産・子育て

実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	30	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

保護者の勤労形態の多様化に伴う保育時間の延長に対する需要に対応するため、認可された保育施設等における延長保育促進に取組み、児童の福祉の向上を図るもの。

2. 事業内容

民間保育所等の開所時間を超える保育事業を推進するため、保育士の配置に対し補助金を支払う。
本事業を実施するにあたり7時から18時までの間、保育士を1人以上配置する。標準時間18時から19時（短時間16時から18時）までの延長時間には2人以上の保育士を配置する。
実施施設：嬉野市内認可保育所4園、認定こども園8園、小規模保育園1園

3. 全体計画

事業期間 令和 3 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円) 33,319

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容			延長保育事業	延長保育事業	延長保育事業	延長保育事業
事業費(単位:千円)		補助率	4,509	5,008	4,964	18,838
財源内訳	国庫支出金	1/3	1,535	1,677	1,677	6,278
	県支出金	1/3	1,463	1,645	1,644	6,278
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		1,511	1,686	1,643	6,282

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位：千円)

内	容	補助	単独
負担金，補助及び交付金	(補助金)	5,683	
	〈保育標準時間〉		
	1園当たり 300,000円(30分延長)		
	300,000円×12園＝3,600,000円		
	〈保育短時間〉		
	9人×18,800円(1時間延長単価)×12園＝2,030,400円		
	4人×13,100円(1時間延長単価)×1園＝52,400円		
	計5,682,800円		
	【今回追加補正】		
	〈保育標準時間〉	13,155	
	1園当たり 600,000円(30分延長) 1,760,000円(1時間延長)		
	600,000円×4園＝2,400,000円		
	1,760,000円×8園＝14,080,000円		
	〈保育短時間〉		
	8人×20,200円(1時間延長単価)×10園＝1,616,000円		
	9人×40,400円(2時間延長単価)×2園＝727,200円		
	1人×14,000円(1時間延長単価)×1園＝14,000円		
	計18,837,200円		
	18,837,200円－当初予算5,683,000円＝13,154,200円		
計		18,838	

5. その他参考となる事項

当初予算事業費　5,683千円
12月補正事業費　13,155千円
（補正財源内訳）国支出金　4,384千円
県支出金　4,384千円
一般財源　4,387千円

補正後事業費　18,838千円
【補正内容】〈保育標準時間〉 補助基準額の引き上げ
30分延長300,000円→600,000円　1時間延長1,667,000円→1,760,000円
〈保育短時間〉 補助基準額の引き上げ
1時間延長18,800円→20,200円(保・認こ)　13,100円→14,000円（小規模）
平均対象児童数の引き下げ　6人以上 → 3人以上

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	放課後児童健全育成事業
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	①結婚・妊娠・出産・子育て

実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	30～31	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

労働等により、保護者が昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後の適切な遊び、及び生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、児童の健全育成を図る。

2. 事業内容

令和6年度実施場所　五町田小学校(4クラブ)、久間小学校(2クラブ)、塩田小学校(1クラブ)、嬉野小学校(4クラブ)、轟小学校(1クラブ)、吉田小学校(2クラブ)、大草野小学校(1クラブ)、大野原小学校(1クラブ)　計16クラブ
民営放課後児童クラブ(1クラブ)
※祝祭日、日曜、お盆(8/13～8/15)、年末年始(12/29～1/3)を除く

3. 全体計画

事業期間 令和 3 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円) 739,090

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容			放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業
事業費(単位:千円)		補助率	146,613	177,670	193,874	220,933
財源内訳	国庫支出金		46,000	54,523	58,097	67,317
	県支出金		41,891	52,186	58,157	67,317
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他		16,792	16,557	17,299	18,031
	一般財源		41,930	54,404	60,321	68,268

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
報酬	放課後児童ｸﾗﾌﾞ運営業務委託選定委員会委員 2人:11,400円		12
旅費	普通旅費:11,000円		11
需用費	消耗品費:34,000円、印刷製本費:40,000円、光熱水費:2,858,000円	3,358	74
	修繕料:500,000円		
役務費	手数料:96,000円、保険料:72,000円	72	96
委託料	業務委託:186,801,000円、警備:231,000円、送迎:739,000円	187,771	
	【今回追加補正】		
	業務委託:3,318,482円（補助基準額増）	3,319	
工事請負費	放課後児童ｸﾗﾌﾞ改修:2,166,600円	2,167	
備品購入費	学習用テーブル:130,000円	130	
負担金、補助及び交付金	民営放課後児童クラブ(間接補助)	20,919	
	【今回追加補正】	2,840	
	放課後児童健全育成事業:2,381,000円（補助基準額増）		
	放課後児童ｸﾗﾌﾞ支援事業:292,000（補助基準額増）		
	障害児受入強化推進事業:118,000円（補助基準額増）		
	放課後児童クラブ育成支援体制強化事業:49,000円(補助基準額増)		
	【今回追加補正】		
償還金，利子及び割引料	放課後児童健全育成事業償還金(前年度国庫補助金)		164
計		220,576	357

5. その他参考となる事項

当初予算事業費　214,609千円
12月補正事業費　6,323千円

(補正財源内訳)		
	国庫支出金	2,052千円
	県支出金	2,052千円
	一般財源	2,219千円

補正後事業費　220,932千円

【補正内容】
・「子ども子育て支援交付金要綱」改正に伴う補助基準額引き上げ
・ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ処遇改善の対象となる支援員の増加(1人増)
・放課後児童健全育成事業償還金(前年度国庫補助金)

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	施設型給付費
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	①結婚・妊娠・出産・子育て

実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	30	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

小学校以降の教育の基礎を作るための幼児期の教育を行う施設、就労などのため家庭での保育ができない保護者に代わって保育する施設、教育と保育を一体的に行う施設を支援するとともに、入所児童の福祉の向上を図る。

2. 事業内容

保育所、認定こども園、幼稚園に対し運営経費として施設型給付費、地域型保育給付費を支弁する。
（認可保育所4園、幼保連携型認定こども園5園、保育所型認定こども園3園、新制度幼稚園1園、小規模保育所1園　等）

3. 全体計画

事業期間 令和 3 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円) 4,877,416

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容			特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁
事業費(単位:千円)		補助率	1,101,163	1,160,491	1,266,643	1,349,119
財源内訳	国庫支出金		545,670	562,707	626,912	665,380
	県支出金		249,505	249,906	283,720	311,264
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他		42,804	45,250	53,069	27,379
	一般財源		263,184	302,628	302,942	345,096

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
旅費	普通旅費11,220円 （保育料徴収）		12
需用費	消耗品費80,410円、印刷製本費71,385円		153
役務費	通信運搬費155,400円、手数料270,988円		427
委託料	保育所（施設型給付費） 367,338,579円	367,339	
	【今回追加補正】		
	保育所		
	年間見込額 411,351,540円－当初予算367,339,000円	44,013	
	＝44,012,540円		
負担金，補助及び交付金	認定こども園等（施設型給付費） 862,162,733円	862,163	
	【今回追加補正】	75,012	
	負担金（認定こども園等）		
	年間見込額		
	・認定こども園　877,111,620円		
	・幼稚園　24,695,808円		
	・小規模保育園　35,367,260円		
	合計 937,174,688円－当初予算862,163,000円		
	＝75,011,688円		
計		1,348,527	592

5. その他参考となる事項

当初予算事業費　1,230,094 千円
12月補正事業費　119,025 千円

（補正財源内訳）国庫支出金　60,283 千円
県支出金　32,512 千円
一般財源　26,230 千円

補正後事業費　1,349,119 千円

【補正内容】 人事院勧告による単価改定及び加算科目増に伴う増額

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	認定こども園等整備事業
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	①結婚・妊娠・出産・子育て
実施主体	個人・事業者	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	30	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

認定こども園の施設整備に要する費用の一部を補助することにより、こどもを安心して育てることができる施設の整備を行うことができる。

2. 事業内容

認定こども園等の施設の老朽化、創設に伴い、法人が行う施設整備に要する費用の一部を補助する。

3. 全体計画

事業期間 令和 5 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円) 232,018

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容					園舎建築	園舎建築
事業費(単位:千円)		補助率			20,164	211,854
財源内訳	国庫支出金	50%			13,624	141,116
	県支出金					
	市債	95%、80%			6,300	56,400
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源				240	14,338

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
負担金、補助金及び交付金	補助金		
	認定こども園施設整備事業	191,770	
	【今回追加補正】		
	補助基準額　196,978千円　進捗率　92.54%	19,903	
	国庫補助分　196,978千円×92.54%＝182,283千円		
	市補助分　182,283千円×1/2＝91,141千円		
	国・市補助合計273,424千円－繰越明許61,751千円		
	－当初予算191,770千円＝19, 903千円		
償還金,利子及び割引料	【今回追加補正】		
	前年度国庫補助金償還金		181
計		211,673	181

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		191,770千円
12月補正事業費		20,084千円
(補正財源内訳)	国支出金	13,269千円
	起債	5,300千円
	一般財源	1,515千円
補正後事業費		211,854千円

※国支出金はR5年度繰越とR6年度国庫補助に振分後の金額

【補正内容】　法改正に伴う補助基準額の引き上げ(182,638千円→196,978千円)
工事進捗率の変更(70%→92.54%)

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	さが園芸888整備支援事業
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり					政策分野	①農業

実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	36	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

経営規模の拡大を図る意欲的な農業者や新規就農者の確保を進め、収益性の高い園芸農業を確立するために、収量・品質の向上や低コスト化、経営規模の拡大など、農業所得の確保・向上ができる園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備を推進する。

2. 事業内容

園芸用ハウスや育苗施設等の整備に要する経費に対し、補助を行う。
県単独事業　補助率　県1／2以内　市1／10以上
負担金に関しては窓口市町が鹿島市であるため、市費補助金相当額(41,000円)を負担金として鹿島市に支出

3. 全体計画

事業期間 令和　元　年度　～　令和　6　年度　事業費(千円)　117,666

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容			さが園芸生産888億円推進事業	さが園芸生産888億円推進事業	さが園芸生産888億円推進事業	さが園芸生産888億円推進事業
事業費(単位:千円)		補助率	4,398	9,100	2,400	66,240
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	1/3,1/2	3,664	7,000	2,000	56,665
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		734	2,100	400	9,575

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
負担金、補助金及び交付金	園芸用ハウス等の整備への補助	63,967	
	【今回追加補正】		
	(負担金)開薬器　1基	41	
	(補助金)中古ハウス梁補強　1件	2,232	
計		66,240	

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		54,967 千円
6月補正事業費		9,000 千円
12月補正事業費		2,273 千円
(補正財源内訳) 負担金		41 千円
補助金	県支出金	1,860 千円
	一般財源	372 千円
補正後事業費		66,240 千円

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	産地生産基盤パワーアップ事業
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり					政策分野	①農業

実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	36	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

国が定める産地生産基盤パワーアップ事業実施要綱に基づき取組主体が行う事業に要する経費を補助することにより、産地の高収益化に向けた取組や園芸作物等の生産基盤の強化を図るための取組を総合的に支援する。

2. 事業内容

園芸ハウス団地への入植者を受益者として含む農業者の組織する団体が行う低コスト耐候性ハウスの整備に係る費用の一部を助成する。
補助率　国1/2以内、県4/20以内（上限3,000万円／人）、市町1/20以内（上限750万円／人）
窓口市町が武雄市であるため、市費補助金相当額(15,000,000円)を負担金として武雄市に支出

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円)

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容			低コスト耐候性ハウス			低コスト耐候性ハウス
事業費(単位:千円)		補助率	911,228			22,500
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	1/3,1/2	877,251			
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		33,977			22,500

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

	内容	補助	単独
負担金、補助金及び交付金	きゅうり 低コスト耐候性ハウス　1件	7,500	
	【今回追加補正】		
	(負担金)きゅうり 低コスト耐候性ハウス　2件	15,000	
計		22,500	

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	0 千円
9月補正事業費	7,500 千円
12月補正事業費	15,000 千円
(補正財源内訳)	
負担金	15,000 千円
補正後事業費	22,500 千円

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	指定農道維持管理事業
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり					政策分野	①農業

実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ページ	37	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

不特定多数の通行がある基幹的な指定農道を適正に維持管理し、通行の安全確保や農業経営の安定に寄与する。

今回の補正：指定農道中村五町田線は、嬉野鹿島間をつなぐ重要な路線であるが、豪雨によりたびたび浸水している。しかしながら、地形的に抜本的な対策が難しく浸水した場合は、職員が「浸水注意」や「通行止め」の看板を昼夜問わず設置に行く必要があるため、安全面、時間面などの負担が大きい。また、夜間は看板が見えずらく、暴風時には、看板が設置できない。以上のことからドライバー・車両の安全安心を確保するため、水位計と電光表示板を活用した通行規制とする。

2. 事業内容

指定農道を安全に通行できるよう維持管理を行う。

今回の補正　：水位モニタリングシステムの設置及び電光表示板の設置

水位モニタリングシステムで感知した現場の水位状況が、メールで管理者へ送信される。管理者は、送信された水位状況により、電光表示を遠隔操作で切り替え、ドライバー等へ情報提供。

3. 全体計画

事業期間 令和　　年度　～　令和　　年度　事業費(千円)

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容			指定農道維持管理	指定農道維持管理	指定農道維持管理	指定農道維持管理
事業費(単位:千円)		補助率	2,254	1,736	2,943	10,837
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		2,254	1,736	2,943	10,837

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位：千円)

内	容	補助	単独
委託料	維持管理(草払い等)		950
工事請負費	舗装補修		2,000
	【今回追加補正】		
	指定農道五町田中村線水位計及び電光表示板設置		7,800
原材料費	道路整備用材料		87
計			10,837

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	3,037千円
12月補正事業費	7,800千円
(補正財源内訳) その他	
一般財源	7,800千円
補正後事業費	10,837千円

【様式1】

令和6年度　12月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	学校施設バリアフリー化改修(嬉野小)
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり					政策分野	①学校教育

実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	46	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

学校施設のバリアフリー化及び教室の改修を行うことにより、配慮が必要な児童が支障なく安心して学校生活をおくることができる環境整備を図る。

2. 事業内容

車椅子に対応できるように嬉野小学校の施設を改修する。また令和6年度、特別支援学級が2学級増える予定であるが、教室が不足するため、特別支援教室を整備する。
①バリアフリートイレ設置及び既設トイレ改修、教室前手洗い流し改修
②エレベーター増築(令和7年度までの2か年事業)
③パソコン教室を仕切り通級教室に改修し、これまで通級教室として使用していた教室を特別支援教室・少人数学習室として整備

3. 全体計画

事業期間 令和 5 年度 ～ 令和 7 年度　事業費(千円) 91,641

実施年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業内容					スロープ新設その他改修工事	バリアフリー化改修工事
事業費(単位:千円)		補助率			10,351	81,290
財源内訳	国庫支出金				4,229	16,129
	県支出金					
	市債				3,800	50,900
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源				2,322	14,261

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内容		補助	単独
役務費 手数料	確認申請(エレベーター増築)		13
	【今回追加補正】エレベーター構造適合性判定手数料		217
委託料	設計監理業務委託	7,000	
	【今回追加補正】エレベーター設計監理業務委託料増額	△ 5,320	7,000
工事請負費	①トイレ等改修 ②エレベーター増築 ③特別支援教室整備	40,577	
	【今回追加補正】①トイレ等改修②エレベーター増築③特別支援教室整備	△ 10,362	42,165
計		31,895	49,395

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		47,590千円
12月補正事業費		33,700千円
(補正財源内訳)	起債(90%)	-14,200千円
	起債(75%)	36,800千円
	一般財源	11,100千円
補正後事業費		81,290千円
(補正後財源内訳)	国庫支出金	16,129千円
	起債(90%)	14,100千円
	起債(75%)	36,800千円
	一般財源	14,261千円